

9/21(火) の発表

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～



報道発表資料の配付日時

9/21(火)

15時00分

発表項目 (行事名)	溶血性尿毒症症候群 (HUS) 併発事例及び (週報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所)	発表者	
	月 日 ( ) 時 分～	発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆腸管出血性大腸菌感染症患者 (HUS 併発事例) の発生について 別紙1 名寄保健所</p> <p>◆週報 (腸管出血性大腸菌感染症 (3類感染症) の発生について) 別紙2 江別保健所、千歳保健所、苫小牧保健所、富良野保健所</p>		
参考			

報道 (取材) に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	名寄保健所、江別保健所、千歳保健所、苫小牧保健所、富良野保健所	

担当 (連絡先)	保健福祉部感染症対策局感染症対策課感染症対策係 (担当: 山下)		
	電話	(代表)	011-231-4111 (内線25-506)
		(ダイヤルイン)	011-204-5253

# 腸管出血性大腸菌感染症の発生について 溶血性尿毒症症候群 (HUS) 併発事例

令和 3 年 (2021 年) 9 月 21 日 (火) 15:00

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課

TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)

FAX: 011-232-3719

令和 3 年 (2021 年) 9 月 17 日 (金) に、名寄保健所管内の女性 (70 歳代) から腸管出血性大腸菌感染症 (ペロ毒素産生性)、溶血性尿毒症症候群 (HUS) の併発が確認されたのでお知らせします。  
記

## 1 発生の概要

令和 3 年 (2021 年) 9 月 11 日 (土) に、女性 (70 歳代) 1 名が、腹痛、血便、食欲不振の症状を呈し、同保健所管内の医療機関を受診し、入院、検査、治療を受けていたところ、溶血性尿毒症症候群 (HUS) を併発したことが確認された。

## 2 経過

9 月 11 日 (土) 腹痛  
9 月 12 日 (日) 血便出現、A 医療機関の救急外来受診  
9 月 14 日 (火) 血便持続、食欲不振、B 医療機関を受診しそのまま入院  
9 月 17 日 (金) 溶血性尿毒症症候群 (HUS) を併発し、A 医療機関へ転院  
名寄保健所が A 医療機関より腸管出血性大腸菌感染症の患者発生届を受理  
現在、入院加療中

## 3 感染経路

現在調査中

## 4 対応

- ・家族等の健康調査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

## 5 その他

この件については、本日 15 時 00 分、名寄保健所においても、資料配付を行っています。  
報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

### 腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ペロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。(無症状病原体保有者)

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ることで感染する。(経口感染)

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5 日が多いが、1 週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

### 溶血性尿毒症症候群 (HUS) とは

概要：腸管出血性大腸菌 (EHEC) が産生するペロ毒素が、腎臓の微小血管に障害を起こすことで、溶血性貧血、血小板減少、急性腎機能障害といった症状が現れる病態である。

その他、意識障害、痙攣、頭痛といった症状もみられる。

HUS は EHEC 感染者の約 1～10% に発症し、特に小児や高齢者が発症しやすい。

EHEC に感染し、下痢あるいは発熱出現後 4～10 日に発症することが多い。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況 (2021 年)

9 月 21 日 (火) 時点

区分/O 抗原型	1	8	15	25	26	28	55	91	103	111	115	124	125	126	128	145	157	不明	合計	
患者				25	1	1			5	4				1		1	52	6	96	
無症状病原体保有者		4	1	17	1			8	8	1	2	1	1	2				15	24	85
計		4	1	42	2	1		8	13	5	2	1	1	3		1	67	30	181	

(単位：人)

\*政令市 (札幌市・函館市・小樽市・旭川市) 及び本日発表分を含む。

\*全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)

## 腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和3年（2021年）9月21日（火）15:00

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課

TEL: 011-231-4111（内線: 25-506）

FAX: 011-232-3719

令和3年（2021年）第37週（9月13日（月）～9月19日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌（ベロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

## 記

## 1 発生の概要

番号	保健所	区分	性別等	発症日及び 主な症状	受診日	保健所 受理日	現在の状況	備考
1	江別	患者 (O157)	男性 (30歳代)	9月10日（金） 下痢、腹痛、 血便	9月11日 （土）	9月13日 （月）	症状は快方 に向かって いる。	—
2	千歳	無症状病原 体保有者 (型不明)	男性 (40歳代)	無症状	—	9月17日 （金）	無症状	—
3	苫小牧	患者 (O157)	女性 (70代)	9月12日（日） 腹痛・血便	9月13日 （月）	9月16日 （木）	入院中	—
4	富良野	無症状病原 体保有者 (O157)	男性 (90歳代)	無症状	—	9月15日 （水）	無症状	9月14日公表の患 者（女性（80歳 代））の家族

## 2 対応

- ・家族等の健康調査及び便検査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

## 3 その他

この件については、本日15時00分、各保健所においても資料配付を行っています。  
報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。

## 腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ベロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。（無症状病原体保有者）

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ることによって感染する。（経口感染）

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

## 【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況（2021年）

9月21日（火）時点

区分/O抗原型	1	8	15	25	26	28	55	91	103	111	115	124	125	126	128	145	157	不明	合計
患者				25	1	1			5	4				1		1	52	6	96
無症状病原体保有者		4	1	17	1		8	8	1	2	1	1	2				15	24	85
計		4	1	42	2	1	8	13	5	2	1	1	3			1	67	30	181

(単位：人)

※ 札幌市、旭川市、函館市、小樽市分を含む

※ 全道の状況については、北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)